

岩手県田野畑村 (特)体験村・たのはたネットワーク

<http://www.tanohata-taiken.jp/>

問合せ先

窓口名：NPO 法人 体験村・たのはたネットワーク
住所：岩手県田野畑村北山 129-10 北山崎ビジターセンター内
TEL：0194-37-1211 FAX：0194-33-3355
E-mail：taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：盛岡市
集合場所：田野畑村北山崎
車の場合：150分 鉄道の場合：180分



受入概要

田野畑村では「日本一の海岸美」と称される「北山崎」が有名であるが、平成 16 年より、この地の風景と営みに溶けこんでもらうための体験プログラムを提供している。平成 20 年現在、民泊受入れ家庭 66 軒を整備したほか、村内の宿泊施設も充実。漁業体験のインストラクターは地元の漁師、酪農のインストラクターは専業酪農家が務め教育効果は高い。各インストラクターはスキルアップ研修会や視察を定期的実施して受け入れ態勢の充実化を図っている。体験プログラムの利用者数（子供・大人問わず）は平成 16 年の 430 人から大きな伸びを示し、H20 年度は 5000 人を超える見込みである。組織は専門のコーディネーターを中心に受入れ窓口を一元化し、これまでの任意団体である協議会を NPO 法人化したことによって、組織の任務と責任が明確になり、対外的には社会的信頼度が増し、学校やお客様の要望に対しては柔軟且つスピーディーな対応が可能となった。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

陸中海岸国立公園（三陸海岸）の北部に位置し、海から垂直にそそり立つ高さ 200m の断崖が 8 km にもわたる景勝地の「北山崎」や「鶴の巣断崖」がある。

特 A 級と評される海岸美「北山崎」は海辺に南北に 20km の遊歩道が通り自然散策に便利。断崖には海からの湿った空気が断崖にあたり、春から夏にかけて「やませ」という霧が発生する。このため夏も冷涼な日が多く、山にしか自生しないとされているシロバナシャクナゲ（県天然記念物）やブナの木が海岸線に自生する。また、切り立った岩場にはミサゴの営巣地があり毎年春に繁殖する貴重な場所でもある。内陸部では蝶類の希少種である「チョウセンアカシジミ」が自生繁殖する地域があり地元の住民が保護活動を続けている。これら希少種の保護活動については毎年定期的に体験活動の目的で訪れる小学校と地元小学校との連携で観察と保護に取り組むことも可能である。



北山崎

歴史・文化的な特色

三陸大津波について本人の実体験で語り継がれる語り部や、集落ごとに継承されている鹿踊りや伝統神楽など文化的資源は豊富である。幕末期の義民一気である三閉伊一揆から「正義感、責任感、協働の精神」が受け継がれた地元住民の気質や人間性は良き教材となる。漁民が使用する作業小屋が集中して残る「机浜番屋群」は水産庁が指定する「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれ、体験学習の活動の場となっている。

農林水産業の特色

漁業資源が豊富な三陸の海において、ワカメや昆布などの養殖、サケ定置網、刺し網などの近海漁業が盛んにおこなわれている。近年は食の安全を重視する消費者との信頼関係構築と漁業後継者対策として「ワカメのオーナー制」を展開するなど積極的な漁業振興に取り組んでいる。また、山地においては夏でも冷涼な気候と広大な丘陵部を生かした酪農業が盛んで、乳製品の加工販売においても積極的な商品開発を進めるなど、地域の特色を出した取り組みが進められている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	66	8	3	1
最大宿泊可能人数	198	118	525	40
料金	5250 円～	3675 円～	7350 円～	5775 円～

おすすめ体験学習プログラム

サッパ船アドベンチャーズ（120分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

実際に漁師が使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖を手の届くような距離で体感。養殖棚でのワカメ・昆布など養殖現場での見学体験も実施する。海の自然、森の自然、山の自然、動植物への理解を深める。また、田野畑の昔の生活についても、地元のガイドから直接聞くことができる。

北山崎ネイチャートレッキング（60分・自然アウトドア体験）

【期間】

通年

【内容】

ブナや松の巨木めぐり、浜辺の自然観察などバラエティ豊かなネイチャー体験が可能である。

番屋料理体験（60分・郷土料理体験）

【期間】

通年

【内容】

番屋で採れたての海産物を自らさばいて味わう。名物の番屋風ハンバーグは四季折々の魚が材料である。

ウミネコ餌付け体験（60分・動物・昆虫体験）

【期間】

4月～11月

【内容】

海風の爽快さを感じながらウミネコや海鷗など海辺の野鳥観察をします。断崖絶壁をめぐる専用観光船にてのプログラムである。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	漁師の営みから生きる知恵を学ぶ	実施時期	通年
ねらい	漁業と酪農などの作業や日々の生活を直接体験することで一次産業の現状に触れ、食の確保の大変さや安全性についての関心を高める。また、地域住民と作業やホームステイにより、心通じたコミュニケーションの大切さやありがたさに気づく。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式、北山崎ネイチャートレッキング	インストラクター・スタッフとの対面・オリエンテーション。断崖のスケールを浜辺から堪能。植物や海の生物についての自然観察や手掘りで貫いた岩穴を冒険。
	宿泊	農林漁家民泊	各宿の漁師や農家を兼ねる主人とふれあい、食事準備の手伝いをする。団体生活における規律を学ぶ。
2日目	午前	サッパ船と養殖作業体験	小型漁船「サッパ船」に実際に乗っての断崖めぐり、沖の養殖棚での養殖作業体験。
	午後	漁師番屋ガイド・漁師の語り合い	漁師が営みで使っている「番屋」の中の見学や、漁の道具の使い方、営みの昔と今を語ってもらう。
	宿泊	農林漁家民泊	各宿の漁師や農家を兼ねる主人とふれあい、食事準備の手伝いをする。団体生活における規律を学ぶ。
3日目	午前	魚さばき体験・番屋料理体験	漁師参加から魚やホヤなどの包丁捌き方を指導してもらい自ら体験する。
	午後	貝殻アート、神楽体験	浜辺に打上げられた貝殻を使い、ストラップやフォトスタンドなど創造性を生かした作品づくりをする。伝統芸能の大宮神楽を鑑賞、一部舞を体験
	宿泊	農林漁家民泊	各宿の漁師や農家を兼ねる主人とふれあい、食事準備の手伝いをする。団体生活における規律を学ぶ。
4日目	午前	魚市場見学、津波の語り部	早朝の市場見学から魚の流通を学ぶ。
	午後	漁家・農家・酪農 生活体験	オリエンテーション、対面式 ホームステイ先の各家庭での作業や生活体験。
	宿泊	農林漁家民泊	各家庭において夕食作りや団らんを通しての生活体験。
5日目	午前	漁家・農家・酪農 生活体験	ホームステイ先の各家庭での作業や生活体験。 受入れ家庭とのわかちあい。
	午後	離村式	期間中の振り返り、帰りの移動準備、お別れのセレモニー

岩手県洋野町

海と高原のまち・ひろの体験交流推進協議会

<http://www.ohnocampus.jp/>

問合せ先

窓口名：(株)大野ふるさと公社
住所：岩手県洋野町大野 58-12-30
TEL：0194-77-2266 FAX：0194-77-4387
E-mail：greenhil@peace.ocn.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：盛岡市
集合場所：おおのキャンパス
車の場合：120分
鉄道の場合：-



受入概要

1. 受入の意義としては、地元洋野町の農漁村生活や地域的特色を理解してもらい、環境や資源と人々の生活の関わりについて考えてもらえるよう生徒（体験者）と農林漁家（受入側）が主役になるよう努める。
2. 実施にあたり、学校側と十分な連絡及び意見交換等を行い、より教育的な旅行としての効果が発揮できるよう、また、安全性が確保されるよう努め、プランが決定次第早急に農家や指導者の勉強会を開催するなどにより、学校、受入農林漁家、事務局が共通の目的に向かって綿密な連携をとり事業に取り組むものである。
3. 当協議会は、町内にある各関係団体が一体となってグリーン・ツーリズムに取り組んでおり、地域全体で取組めるよう進めている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

岩手県の北東部に位置し、北は青森県三戸郡階上町、南は久慈市、東は太平洋に面しており、西は軽米町に接している。地形は、太平洋に面した海岸から北西部に位置する種市岳や西部の久慈平岳など約 700メートルの山々以外は、なだらかな丘陵地帯となっている海と高原のまちである。

自然資源の紹介 気候は、西部の高原地域は、夏季は東部の海岸地域に比べ4℃～5℃気温が高く、冬季は積雪が多く、内陸型気候となっている。一方、東部海岸地域は、海洋の影響を受け、春から夏にかけて「ヤマセ」に伴う濃霧が発生するため、冷涼で湿度が高く、日照時間が西部の高原地域に比べ短い気象条件にある。

歴史・文化的な特色

この地方に古くから伝わり日本最古の民謡ともいわれる盆踊り「ナニヤドヤラ」がある。この「ナニヤドヤラ」の歌の由来には、いくつかの説があり、民俗学者の柳田国男は、恋歌であると言い、言語学者の金田一京助は、方言が崩れた説を唱えている。そのほかにもヘブライ語説など、様々な諸説があるミステリアスな盆踊りである。大正9年、種市の小さな旅館に泊まった柳田国男は、この盆踊りの鮮烈な印象を『浜の月夜』と『清光館哀史』という短編に著し、後に高校の教科書に掲載されたことがきっかけで広く全国に知らせるようになった。

農林水産業の特色

1. 農業：稲作を中心とし、野菜やシイタケ、酪農をはじめ、肉用牛、豚、鶏などの畜産業との複合経営型だが、近年では当地域特有の冷涼なヤマセを逆利用した簡易ビニールハウスによる雨よけホウレンソウ等の施設野菜が増えている。
2. 林業：町の総面積の77%の23,349haが森林面積であり、ほとんどが民有林となっている。間伐材を活用した良質の木炭の生産やシイタケ等の特用林産物の生産促進も推進している。
3. 水産：海岸線は、南北延長約26kmであり、干潮時には、海岸から沖合150mにわたって約120haの岩盤が露出する干出岩盤地帯となっている。そうした環境を利用し、この岩盤に多数の溝を掘削した大規模増殖場を造成し、ウニの漁場を整備した。これにより平準的な漁獲を確保できるようになり、近年では、全国第2位の本県のウニ生産量のうち、本町は約3割を占めるようになり、品質でも県内一を誇っている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公設の宿泊施設
軒数	20	1
最大宿泊可能人数	100	80
料金	5000円～	5800円

おすすめ体験学習プログラム

農業体験（120分・農業体験）

【期間】

4月～11月

【内容】

洋野の里山で、農業と食の大切さを伝える。インストラクター（農家）と一緒に農作業を行い、食物の育成、農村環境を理解する。〔ほうれん草、稲作、雑穀（そば刈り）、山ぶどう狩り、にんじん・だいこん、じゃがいも、とうもろこし、りんご〕



パンづくり体験（120分・料理体験）

【期間】

7月～8月

【内容】

地元のパン屋の指導のもと、パンづくりの体験を行う。

山歩き（山菜・きのこ狩り）体験（120分・林業体験）

【期間】

5月～7月

【内容】

洋野の里山を散策しながら、春には、ワラビ、タラの芽などの山菜、秋には、きのこ、栗などの収穫を体験する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	海と高原の町・ヒーロー（ひろの）への旅	実施時期	5月～11月
ねらい	児童が洋野にある自然・農村生活を体験することにより、農業・食・人的交流を学ぶ。班活動や集団活動で規則正しい生活、農家泊での異世代交流を行い、普段味わえない様々な人・物と出会い、五感で感じながら、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動でできる自律の心を育てることをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入校式・工作体験①	入校式・オリエンテーション〔目標・ルール確認、施設説明〕 0.5時間 工作体験①〔大野木工・マイ箸づくり〕
	午後	工作体験②、自然観察体験	工作体験②〔食作り〕 班ごとにアイス、パン、ゆばづくり体験 2時間 自然観察体験日本有数の星空がきれいに見える「おおのキャンパス」での星空観察
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
2日目	午前	入村式、農家・懇談	入村式：農家との対面、オリエンテーション、移動 1時間 農家・懇談：各農家での生活スケジュールの確認、懇談
	午後	農家体験③	農業農村体験
	宿泊	農林漁家民泊	農家ごとに交流を深める
3日目	午前	農家体験④	各農家での農業体験〔野菜収穫など〕、産直への出荷・販売体験
	午後	農家体験⑤	野山の散策・自然観察
	宿泊	農林漁家民泊	農家ごとに交流を深める
4日目	午前	農業体験⑥	各農家での農業体験〔ほうれん草収穫など〕、産直への出荷・販売体験
	午後	農業体験⑦	農家の昔ながらの料理づくり体験〔みみこ餅、団子〕
	宿泊	農林漁家民泊	農家ごとに交流を深める
5日目	午前	農家体験⑧、離村式・ふりかえり	農家体験⑧ 野菜等の産直施設等への出荷、販売体験 2時間 離村式・ふりかえり 生徒と受入農家等とのお別れ会
	午後	学校まで移動	

宮城県気仙沼市

気仙沼市アグリアス・ツーリズム連絡協議会

問合せ先

窓口名： 気仙沼大島観光協会
住所： 宮城県気仙沼市浦の浜 41-1
TEL：0226-28-3000 FAX：0226-28-3587
E-mail：oshimahp@k-macs.ne.jp

アクセス

最寄りの都市： 仙台市
集合場所： 浦の浜港（大島）
車の場合： 150 分
鉄道の場合： 135 分



受入概要

気仙沼市では、全国に先駆けて、スローフード宣言をし、単に食のことにだけ関心を持つのではなく、自然から私たちの口に運ばれるまでの過程についても思いをめぐらせ、生活の中で育まれてきた食を次世代へつなげていこうという取組を実施している。

気仙沼市での体験学習は、これらのことについて、実際に自然と触れ合いながら、五感をフルに活用して学ぶ絶好の機会であり、プログラムは、安全で魅力的なものを豊富に用意している。また、これまで毎年 4,000 名弱、のべ 2 万人以上の児童生徒を迎えており、受入について十分な経験とノウハウを持っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

気仙沼市は、宮城県の北東端に位置する人口約 65,000 人の街である。東側は太平洋に面し、海岸はリアス式海岸で陸中海岸国立公園にも指定され、湾口を塞ぐように位置する大島が天然の防波堤の役割をするため、内湾は波が穏やかで、天然の良港を形成している。

気仙沼地区は、南から上ってくる暖かい黒潮の影響で、冬も比較的温暖な地域である。年間平均気温は約 11 度。積雪は少なく、夏場も海からのさわやかな風のおかげで、過ごしやすい気候となっている。

自然資源の紹介 気仙沼港から旅客船で約 25 分、気仙沼湾に浮かぶ大島は、その自然の美しさから「緑の真珠」とも呼ばれる周囲 2.4 km の東北最大の有人離島である。

歴史・文化的な特色

気仙沼市は、全国でも有数の港町であり、遠洋漁業の基地として栄えてきた。特に、近年中華料理の高級食材として注目を集めているフカヒレは、全国の 90% ほどが気仙沼産と言われるほか、生鮮カツオや、メカジキの水揚げは全国一を誇る。また、森は海の恋人運動で有名となった唐桑の牡蠣をはじめとする沿岸漁業も盛んに行われており、内湾では、所狭しと並ぶ養殖いかだを見ることができる。

農林水産業の特色

世界 3 大漁場の 1 つである三陸沖漁場を控え、遠洋漁業が盛んに行われており、遠洋マグロ漁船の線籍数は日本有数で、生鮮カツオやメカジキ、サメなどは日本一の漁獲高を誇る。また、獲る漁業のみならず、育てる漁業も盛んで、牡蠣やホタテ、ワカメなど気仙沼ブランドとして高い評価を得ている。また、リアス式海岸であることから海と山が接近しており、市内各地で畑や田んぼも見られ、農業面でも南三陸米や春つげ野菜、階上イチゴなど、ブランド化を進めている。

本年 9 月には、隣町である本吉町との合併も控えており、モーランド本吉を中心とした酪農も新たな産業として期待されているところである。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	22	39	1
最大宿泊可能人数	723	2646	150
料金	3500 円～	-	6930 円～

おすすめ体験学習プログラム

地引き網体験（120分・漁業体験）

【期間】

4月1日～10月31日

【内容】

地域に古くから伝わる漁法であり、季節により魚種も異なる。砂浜で地引網をしたあと、獲れた魚をさばきます。魚は、昼食の海鮮バーベキューや汁物の具材となります。



船上筏見学（90分・アウトドア体験）

【期間】

通年

【内容】

大島では、育てる漁業も盛んに行われており、船でカキやホタテ、ホヤが養殖されているいかだへ船で行って、養殖の方法について漁師さんから話を伺う。

ゆず入りアイス作り（90分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

温暖な気候を利用してゆずが栽培されており、収穫されたゆずの香りを入れたアイスクリームを作り、出来上がったアイスをすぐに試食する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	徹底的に環境学習プラン	実施時期	通年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・森、川、海の連関を考えながら、体験を通して地球環境を考えるきっかけとする。 ・自分たちの住む町との違いを自分たちの足で探し、まとめ上げることで、文化や産業についての理解を深める。 ・班別の行動によってチームワークの大切さや、団体行動について学習できる。 ・地域の方との交流のきっかけを作り、人間は支えられながら生きていることを学ぶ。 		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	対面式及び移動	大島浦の浜港にて里親になる漁家民宿の方々との対面式 その後各班ごと民宿に移動し自己紹介、荷物整理
2日目	宿泊	漁家民宿	共同調理体験
	午前	亀山リフト、環境学習	亀山山頂からリアス式海岸の地形を見て、森川海の連関を考える。
	午後	環境学習	農業農村体験
3日目	宿泊	漁家民宿	菜種油を使用した食品の試食など
	午前	環境学習	BDF製造体験 2時間 / 廃食油の活用方法等についての話
4日目	午後	環境学習	廃食油の回収作業 1.5時間 廃食油を活用したロウソク作り又は石鹼作り
	宿泊	休暇村気仙沼大島（又はキャンプ）	自分で作ったロウソクでキャンドルサービス
	午前	自然体験・漁業体験	無人島体験 2時間 地引網体験と海鮮バーベキュー
5日目	午後	自然体験・漁業体験	地引網体験と海鮮バーベキュー 3時間 離島式→エースポートへ その後港町散策
	宿泊	民間宿泊施設	
5日目	午前	社会見学	魚市場見学、海の市で買い物
	午後	移動	

宮城県東松島市 奥松島体験ネットワーク

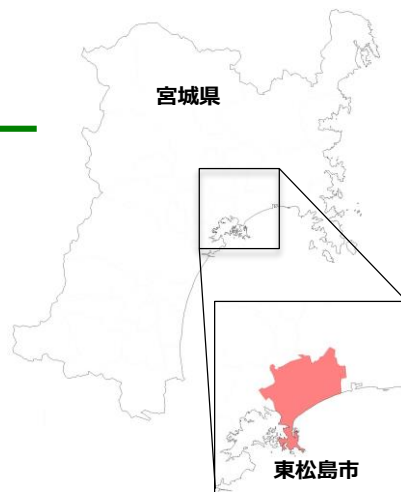
<http://okumatutaiken.aikotoba.jp/>

問合せ先

窓口名：奥松島体験ネットワーク
住所：宮城県東松島市宮戸字月浜 16-1（民宿かみの家）
TEL：0225-88-4141 FAX：0225-88-2175
E-mail：kaminoie@rose.ocn.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：仙台市
集合場所：東松島市宮戸字松ヶ島 嵯峨溪遊覧船駐車場
車の場合：60分 鉄道の場合：60分



受入概要

日本三景松島の外洋部「奥松島」での体験は、民宿を経営しながら漁師をしているインストラクターが中心となり、奥松島での体験は漁船を利用した体験が中心である。漁船は船によって若干異なりますが、1隻あたり8～12名である。多人数の場合は人数にあわせて体験船を用意がある。奥松島体験ネットワーク正会員は全体験に認定グリーン・ツーリズムインストラクター賠償責任保険（対物賠償1名につき1,000万円、対人賠償1名につき5,000万円、1事故につき3億円）に加入している。その他に漁船には乗客損害保険（1名につき3,000万円）と旅客不定期航路事業における安全管理規定の届出を東北運輸局に届出済みで、万全の安全対策を講じている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

奥松島地区は、日本三景松島の外洋部に位置し、松島の内湾と太平洋の外洋部に囲まれた地域で、東京から新幹線で3時間以内の地の利にあり、仙台から1時間以内にある。自然資源の紹介 周辺に点在する島々を含めて「奥松島」と称され、国指定の特別名勝「松島」の一角を占めている。自然豊かな宮戸島は松島四大観の一つ「壮観」とされる大高森を中央に抱き、島の南東部にある室浜から萱野崎までの約2kmにわたって、太平洋の荒波と風雨に浸食された高さ約50mの断崖が続く嵯峨溪がある。その絶景の深谷美は、岩手県の猊鼻溪や大分県の耶馬溪とともに日本三大溪にも数えられており、観光遊覧船で四季折々の表情を楽しむことができる。

歴史・文化的な特色

宮戸島の北西部の丘陵地帯には東西800m、南北200mにわたり、日本でも最大規模の「里浜貝塚」があり、約6,000年前の縄文時代前期から約2,000年前の弥生時代まで約4,000年にわたって人々が集い村を形成した地域として知られている。ここでは、日本最古の製塩炉跡が発見されている。縄文人の生活の様子や里浜貝塚を紹介する「奥松島縄文村歴史資料館」があり、奥松島の観光の名所となっている。また、月浜地区で毎年1月に行われる小正月の行事である「えんずのわり」は、国の重要無形文化財に指定されている。

農林水産業の特色

肥沃な耕土では、主に「ひとめぼれ」や「ササニシキ」が生産され、全国に出荷されている。東松島市だけで生産されている特産米「かぐや姫」もある。農産物では、近年では野菜に力を入れており、とうもろこし、ネギ、イチゴ、きゅうり、トマトなど品質的にも優れたものが生産されている。海産物では、ノリ、カキの養殖、ホッキ貝やあわび、アサリなどの貝類、定置網や刺し網による近海魚の漁が行われており、その中でも中心となって行われているのがノリとカキの養殖である。ノリは皇室献上品として選出されており、カキは身が大きいりで味が濃く、市場で特に高い評価を得ている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	2	4	50	2
最大宿泊可能人数	50	100	1000	150
料金	6300円～7000円	6300円～7000円	8500円～	2700円～

おすすめ体験学習プログラム

船釣り体験（180分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

釣り竿の操作方法と釣りの仕方を学び、レジャーの代表格である釣りの初歩を体験する。
漁業を理解してもらう。



かご漁体験（60分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

かごに餌を入れておびき寄せて漁獲する漁法を体験する。
季節により漁獲できる漁獲物の違いを学ぶ。
実施場所は松島湾および太平洋外洋



刺し網漁体験（60分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

網目に刺させて漁獲する方法の刺し網漁を体験する。
近代漁業の漁獲方法を学ぶ。
実施場所は松島湾および太平洋外洋

受入時の安全対策

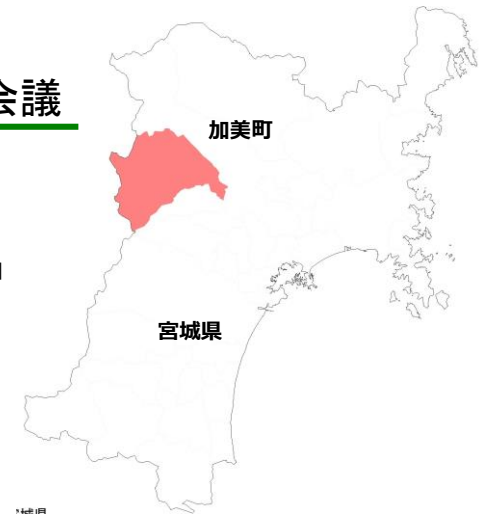
学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	冬の漁師生活体験プラン	実施時期	10月上旬～4月下旬まで
ねらい	現役の漁師と児童が、全体験をじかに触れ合いながら体験することで漁師の生活を学んでもらう。漁業や漁師の生活、漁業の役割や課題を体感してもらい、そこから漁師の仕事に対する姿勢、漁業の生活全体を仕事の体験を通して自覚性、自立性、団体行動の重要性を経験してもらう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式 ロープワーク体験	受け入れ漁師との対面、オリエンテーション。
	宿泊	農林漁家民宿	民宿での過ごし方を学び、夕食、就寝
2日目	午前	かご漁体験、ワカメの収穫体験	かごを使ってのカニかご漁。 ワカメの収穫の体験。
	午後	トレッキング	松島四大観の大高森に登り、奥松島の位置を学ぶ。 山道の遊歩道巡り。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、体験の感想を語り合う。
3日目	午前	操船体験、ウミネコの餌付けと洋上遊覧	自分で漁船を運転する。 ウミネコの餌付けを楽しみながら、日本三大溪の絶景を見学します。
	午後	料理体験	冬の味覚の牡蠣や魚を道具を使って料理する体験です。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、地域の民謡を唄う。
4日目	午前	磯釣り体験	つりの基本を学びながら魚釣りを楽しめます。
	午後	海岸散策 スケッチ	海岸を散策しながら貝拾いをしたり海の生態系を学びます。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、民宿の家族とのお別れ会。
5日目	午前	掃除 縄文体験	勾玉作り、鹿角ストラップ作り、編布作りの中から自由に選んで縄文体験をします。
	午後	離村式	受け入れ漁師とのお別れ会。

宮城県加美町
加美町グリーン・ツーリズム推進会議



問合せ先

窓口名：加美町グリーン・ツーリズム推進会議
住所：宮城県加美町字長壇 75-2（加美町役場小野田支所内）
TEL：0229-67-5123 FAX：0229-67-6940
E-mail：kami-gt@space.ocn.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：仙台市
集合場所：宮城県加美町役場職員駐車場
車の場合：40分

受入概要

今まで中学生の農業体験学習を受け入れてきており、今回の小学生の体験活動は新しい取組である。それに際し、小学生の受入れをした農家等が少ないことや最大2泊3日程度の受入れであったことから、受入れを行う予定の農家・団体等に対しての長期にわたる受入れ安全対策等の研修会やインストラクター育成（養成）のための研修会を行うなど、官民一丸となつて万全の体制づくりを確立している。また、集落で受け入れられる体制づくりも検討している。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

宮城県の北西部に位置し、東西約3.2km、南北2.8km、面積約4.61?であり、県内でも有数の面積を有している。西方は奥羽山脈を隔てて山形県尾花沢市に、東は大崎圏域の中心都市の大崎市古川に接している。地形としては、西部、北部、南部が山岳・丘陵地となっており、ブナなど豊かな森林を有する船形山や加美富士と呼ばれ本町のシンボルとなる薬菜山がそびえている。気象は、寒暖の差が大きい内陸性気候に属し、西部の山岳・丘陵地域は降雪量も多く、豪雪地帯に指定されている。最近5年間の平均気温は11.3℃、年間平均降水量は1,192mmであり、冬から春にかけて北西風が強い地域である。

自然資源の紹介奥羽山脈の山々は、ブナをはじめとする原生林による貴重な植物群落や動物の生息地となっており、そこを源流とする鳴瀬川、田川にはカジカやアユが生息し、その流域は肥沃な田園地帯が広がりを見せ、丘陵地帯、高原、平野部における四季折々の自然が楽しめ、自然の変化が満喫できる。また、豊かな自然環境を育む森林空間は、レクリエーションの場、環境学習の場、自然体験など、自然に親しむ場として最大の資源である。

歴史・文化的な特色

縄文時代の遺跡が数多く発見されており、また、歴史的に知られた史跡も多い。天然記念物指定樹木や地域の特色を象徴する地域資源や高齢者の知恵によって支えられている地域の伝統文化も数多く、地域や生活文化に触れられる資源となっている。

農林水産業の特色

加美町は宮城県の北西部に位置し、ブナなど豊かな森林を有する船形連峰をはじめとする奥羽山脈を背に、そこに源を發する鳴瀬川、田川が町を貫流し、広大な扇状に開けた日本有数の穀倉地、大崎耕土の一角をなしている。このため稲作農業が基幹産業で、外に畜産、畑作物など。その一方で、町の中心部にそびえる薬菜山（標高553M）や豊かな自然を生かした多様な交流施設群が都市生活者にやすらぎと憩いの時間を提供、地域住民もそれに係ることで心の活性化や食材の提供による経済的活性化が図られるなど、グリーン・ツーリズム事業の推進に新たな期待がかかっている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	50	2	6	3
最大宿泊可能人数	200	20	188	284
料金	5000円～	3500円～	6500円～	5000円～

※その他の宿泊施設あり

おすすめ体験学習プログラム

わらび採り（120分・農業体験）

【期間】

5月下旬～6月上旬まで

【内容】

食べ頃のわらびを取り翌日おみやげに。
わらびの昔の食べ方、今の食べ方など聞く。
加美町は再々の宝庫である。



マイブランドソーセージづくり（180分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

ノースモークのボイルまでのコース。
地元の畜産についての理解を深めるだけでなく、食ったソーセージ
は持ち帰って家族と食べよう。



鮎のつかみ取り（90分・漁業体験）

【期間】

7月下旬～8月下旬まで

【内容】

川魚の女王と呼ばれる鮎を自分の手でつかみ炭火で焼いて食
べる。実施場所の鳴瀬川は毎年アユ釣り客で賑わう。

受入時の安全対策

学校関係者向けガ イドライン作成	受入地域内関係者の ガイドライン作成	他安全対策資料用 意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	農業と伝統文化	実施時期	9月下旬～10月中旬まで
ねらい	① 米の収穫作業の今と昔を学びながら餅つきで収穫のうれしさを感じる。 ② 家族的な温かい雰囲気を感じることで人とのふれあい、相手を尊重する気持ちを養う。		
	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入村式	オリエンテーション ① 児童の挨拶 ②受け入れ側の挨拶 ③日程説明 ④その他
	午後	薬菜山登山と温泉入浴	豊穰の里を山頂から眺め食料生産物の分布や土地利用の特色を学びます。 共同で入浴する場合のマナーを学ぶ。
	宿泊	農家民泊	家族紹介など通して大家族の在り方を学びます。何処でも高齢者が一番上の席です。
2日目	午前	農家毎手伝い	農家毎に稲、野菜、果樹の作業を手伝いながら食料生産の現場や大変さを学ぶ。
	午後	農業農村体験	稲刈りの準備や米作りの話を聞く
	宿泊	農家民泊	食事の支度を手伝いながら、取れたて野菜の本当の味を知ることが出来ます。
3日目	午前	全児童参加で手刈りによる稲刈り体験	昔ながらの手刈りを体験することによって昔の人達の労働のつらさを実感する。
	午後	稲の棒掛けに挑戦	コメが一番美味しく出来上がる自然乾燥の方法を学ぶ。
	宿泊	中新田交流センター	食事の後コメづくりについて話し合ってみよう。
4日目	午前	カントリーエレベーター見学	米の乾燥・精米の一貫作業ができる近代化施設の仕組みを学ぶ。1時間見学のあと交流センターに戻り、4日間の感想をまとめ自分にあてた手紙を書く。
	午後	餅つき体験	新米で、臼と杵で餅つき。準備から後片づけまで農家の人達と一緒にやりながら、農家が昔からお祝い事や悲しみのあった時に必ず餅をついたという風習など餅文化を学ぶ。
	宿泊	中新田交流センター	これまで4日間のまとめを整理しよう。
5日目	午前	田植え踊りなど文化体験	豊作を祈願して踊る田植え踊り、菜鳴太鼓など鑑賞と体験。
	午後	退村式	受け入れ農家とのお別れ会

宮城県南三陸町

南三陸町グリーン&ブルー・ツーリズム推進協議会

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

問合せ先

窓口名：南三陸町時間旅行サポートセンター
住所：宮城県南三陸町志津川字塩入 77
TEL：0226-47-2550 FAX：0226-47-2160
E-mail：
miyakawa-ma153@town.minamisanriku.miyagi.jp

アクセス

最寄りの都市：仙台市
集合場所：志津川駅前
車の場合：- 鉄道の場合：75分



受入概要

受入農漁家の人たちは、東北地方の飾らない素朴で暖かい人柄で子ども達を受け入れる。自然の姿や農漁業で暮らす人たちとのふれあいや町の生活文化の中での生活体験は、子ども達にとって良い出会いや学び・刺激になる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

南三陸町は仙台から車で90分、太平洋を望むようにリアス式海岸が続く南三陸金華山国定公園の中にある。緑の山並と青い海が織りなす美しい景観は町の観光資源でもあり、目の前の海はウニ、タコ、アワビ、ホタテ、カキなど、新鮮で美味しい魚介の天然の漁場であり。また里山では鳥獣も昆虫たちも自然のままに生きている。

地形の特徴は、志津川湾を囲むように三方を300m～500m程の山並みに囲まれた地形で、湾に流れ込む河川の水は全て町域に降った雨を集めて流れており、地域完結型の自然環境が保たれた全国的にも珍しく貴重な地形となっている。

自然環境は海・山・川の全ての自然が整っており、生態系はイヌワシを食物連鎖のトップとしたバランスのとれた自然であるため、様々な生物との出会いが可能である。また、地質学的にも特異でもあり、ジュラ紀の地層からウツギョリユウ等の化石が見られることから、環太平洋地質学会が当町で開かれたこともある。

歴史・文化的な特色

世界遺産の候補とされている奥州藤原文化に繋がる産金の歴史と、その時代の金山跡や藤原氏にまつわる歴史的な史跡もある。

また、伊達藩の中心産業であった養蚕の発祥の地であった。(南三陸町バーチャルミュージアム参照) 更に、300年続く県指定民俗芸能の入谷打ち囃子などがあり、山間部の地域では昔ながらの懐かしい生活習慣が残っており民話や伝統を大切にしている風土が残されている。

農林水産業の特色

産業においては、農業は中山間地の地形を活かし、養蚕・葉たばこ・輪菊・葉菜類の栽培や畜産業に取り組んでおり、水産業はギンザケ・カキ・ホタテ・ホヤ・ワカメの養殖が盛んで、漁協単位の白鮭の水揚量は本州で第2位を誇り、街の中を流れる八幡川で鮭の遡上が見られる。



宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	40	25	26	2
最大宿泊可能人数	200	2	1950	164
料金	4000円～	3200円～	6500円～	1100円～

おすすめ体験学習プログラム

節の野菜の種まき体験（120分・農業体験）

【期間】

5月下旬～6月中旬

【内容】

地域の畑で農家の方々とトウモロコシ、大豆等、季節の野菜の種まき体験します。地域の食生活に欠かせない野菜の栽培を地元農家が指導をする。



イワナのつかみ取り体験（120分・食の体験）

【期間】

5月上旬～9月中旬

【内容】

地域を流れる桜葉川支流でイワナのつかみ取りをします。その後さばいて焼いて食べます。イワナの捕まえ方・さばき方・炭おこしの仕方・焼き方等



里山散策（120分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～9月下旬

【内容】

インストラクターの案内のもと、里山を歩きながら自然と親しみ、地域にまつわる史跡や伝説などを見て歩きます。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	森林から海への水の循環と人々の生活	実施時期	5月上旬～6月
ねらい	児童が、南三陸町の特色ある自然・農林漁業を体感し、チャレンジするとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等） 松笠屋敷・シルク館見学	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。）
	宿泊	津川自然の家 or 平成の森	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	里山ウォーク（雨）ネイチャークラフト（全児童参加）	インストラクターの指導による里山散策を行う。（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	農業農村体験
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う
3日目	午前	入谷地域での田植え体験（雨）昔の遊び道具作り（全児童参加）	当該地域の稲作の解説と参加全児童で田植え体験、田んぼ周辺の動植物の生態観察
	午後	農林漁家の生活体験（班別活動）	夕食の食材の調達
	宿泊	農林漁家民宿	農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	農林漁家とお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家への御礼の方法の検討
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。
	宿泊	志津川自然の家 or 平成の森	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	片付けとお別れ会	片付け・清掃活動 3時間 児童による受入関係者に向けたお別れ会
	午後	学校まで移動	

秋田県仙北市 仙北市農山村体験推進協議

<http://www.city.semboku.akita.jp/>

問合せ先

窓口組織名 仙北市農山村体験推進協議会
住所 秋田県仙北市西木町上荒井字古堀田 47 番地
TEL0187-43-2206 FAX0187-47-2440
E-mail masato-takakura@city.semboku.akita.jp

アクセス

最寄りの都市：盛岡市
集合場所：田沢湖地域；仙北市役所田沢湖庁舎駐車場
車の場合：50 分
鉄道の場合：29 分



受入概要

仙北市の自然的資源・文化的資源を活用した農山村体験による地域住民(人的資源)との交流を通じ、人間関係の築き方・人と人との関わりから「生きる力」や「学ぶ力」を身に付け、自然や食物に対する感謝する気持ちと思いやりの心が育まれるよう、教育的側面と農業農村の交流人口の増加による地域活性化を目的とする。特に受け入れ団体の一つである、田沢湖ふるさとふれあい協議会においては、既に昭和57年から受入を行っており、首都圏の小中学校のスキー修学旅行の受入では、ピーク時には、2200人も子どもたちを200人以上のインストラクターにより受入していた実績がある。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

仙北市は、秋田県の東部中央に位置し、岩手県と隣接している。総面積は、1,093.64km²であり、秋田県の9.4%を占め、県内第3位の広さを誇る。市のほぼ中央に水深が423mで日本一の田沢湖があり、東に秋田駒ヶ岳、北に八幡平、南は米どころの仙北平野へと開けている。市の約八割が森林地帯で、奥羽山脈から流れる河川は、仙北平野の水源となっている。

農家の父さん、母さんと働きながら学ぶ農山村体験、新緑から紅葉まで様々な顔を見せるブナ林トレッキングなどの自然観察、大自然の中で楽しむキャンプ(市内には4つのキャンプ場が有る)などが可能である。

歴史・文化的な特色

- ・ 手作りの技を学ぶ伝統的工芸品(樺細工、イタヤ細工等)
- ・ 農家の匠が伝える生活の知恵と工夫(わらじ作り)
- ・ 農家のミセスが伝授するおふくろの味(郷土料理、きりたんぼ作り、もち菓子)
- ・ 創造力を高める(陶芸、木工)
- ・ みんなの思いが一つにまとまる(NeWソーラン節他踊り体験)
- ・ 東北の文化に触れる



農林水産業の特色

農業は、本市の基幹産業であり、「あきたこまち」を中心とする稲作を軸に、地域の特性を生かした、「山の芋」「ほうれん草」「アスパラガス」などの野菜生産のほか、畜産の振興にも力を入れている。

本市総面積の内約8割が山林で占められておりその構成は、国有林が63,816ha、民有林が25,446haとなっており、豊富な森林資源を有している。この資源を有効に活用すべく林道・作業道の整備を推進し特に均衡ある路網整備推進を図るほか、森林レクリエーションを通じ地域住民による森づくり意識の高揚を図ることが求められている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	16	11	12	1
最大宿泊可能人数	64	204	247	244
料金	4000円~	4000円~	5800円~	3700円~

おすすめ体験学習プログラム

樺細工製作（120分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

角館に伝わる伝統工芸品「樺細工」。ヤマザクラの皮を使って壁掛けやコースターを作成する。樺細工は、18世紀末に佐竹北家の城主に手厚く保護を受けた樺細工は、下級武士の副業として広まった。明治時代に入ると、禄を失った武士が、収入を得るために本格的に取り組んだことで、今日の原型と言える作品が作られるようになった。

農山村生活体験（-分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

春作業から秋作業まで（水稻の場合；田植え（苗を一株づつ手植え）～稲刈り（手刈） 野菜；種まき・植え付け～管理作業～収穫） 春は山菜採り、秋はきのこ採り 林業体験；秋田杉の枝打ち、除伐、間伐。積雪期間は、雪寄せ（除雪） 雪遊びなど。

林業体験（-分・林業体験）

【期間】

4月中旬～11月中旬まで

【内容】

二酸化炭素の吸収や地球温暖化の防止、土砂災害など防止など、私たちの暮らしに役だっている森林を管理し環境保護について学ぶ。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	農村生活と野外体験No.1	実施時期	5月上旬～10月下旬
ねらい	農山村の生活や生産現場を知ることにより、農家の食に対するこだわりや自信を感じる。農村生活体験に参加する児童は4～5名程度のチームで行動する。事前学習して、農家にお米や野菜への質問準備をする。キャンプ生活は、チームとしての協調性、リーダーとして、一員としての責任感が養われる。学習旅行に入る前まで事前に班単位での取り決めや事前学習を実施する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発地(学校)から移動	
	午後	観劇、NEWソーラン節踊り	たざわこ芸術村で上演中の劇を見る。その後、団員の指導により、NEWソーラン節を練習する。夕食の後には発表会を行う。
	宿泊	たざわこ芸術村	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	終日	農山村体験	9時頃、受入農家に到着。自己紹介を交えながら、農家の父さん、母さんから作業の内容と日程について説明を受ける。 春作業から秋作業まで（水稻の場合；田植え（苗を一株づつ手植え）～稲刈り（手刈） 野菜；種まき・植え付け～管理作業～収穫） 春は山菜採り、秋はきのこ採り 林業体験；秋田杉の枝打ち、除伐、間伐 夕食の食材の調達 夕食の食材の調達
	宿泊	民泊、農家民宿	農家との語らい
	終日	農山村体験	2日目同様
3日目	宿泊	民泊、農家民宿	農家との語らい（お別れ会を兼ねた夕食会）
	午前	マウンテンバイク教室	人数が100名程度と多い場合は、2班に分けてマウンテンバイクとカヌーの順番を入れ替える）
4日目	午後	カヌー教室	夕食、朝食は先生の指導や児童が協力しながら準備、後片付けを行う。 農家からの野菜などを取り入れたバーベキューで農家を交えた交流会（班別の活動成果の取りまとめ）及びキャンプファイヤーを実施する。
	宿泊	田沢湖キャンプ場	
5日目	午前	樺細工製作、イタヤ細工	人数が100名程度と多い場合は、樺細工班とイタヤ細工の2班に分けて行う。学校側であらかじめ希望を取る。
	午後	学校へ移動	

秋田県大潟村
新生の大地大潟村体験推進協議会

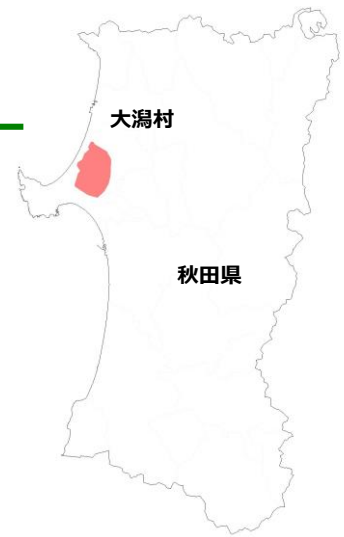
<http://www.ogata.or.jp/>

問合せ先

窓口組織名：大潟村産業建設課
住所：秋田県大潟村字中央1-1
TEL：0185-45-3653 FAX：0185-45-2162
E-mail：g-sangyo@ogata.or.jp

アクセス

最寄りの都市：能代市
集合場所：大潟村：サンルーラル大潟（ホテルロビー）
車の場合：40分



受入概要

大潟村は平成11年度～平成13年度、子ども長期自然体験村を実施してきた。県内外から25人～27人の小学生を受け入れ、農作業、自然、文化体験等多彩なプログラムを展開する等の実績、また、平成15年度からの大潟村生活体験事業では、秋田からの小学生を受け入れ大潟村での農業体験を実施するなど経験も豊富である。地域の魅力としては、農業体験はもちろん、自然体験、ソーラーカー大会、マグナム風車、BDF、有機農業の取り組み、農薬の空中散布を中止するなど、全環境保全型農法の実施を展開している。大規模農業の大型機械の見学はもちろん、干拓の歴史が案内ボランティアから学べる干拓博物館、県立大学との連携もあるので、子ども達の体験活動時には、スタッフとして参加する。インターネット学校菜園、実践農場なども、豊富な体験の一つである。また、1時間ほどの距離に秋田白神山地や男鹿半島があるのも大きな魅力である。大潟村の資源を活かした“学習効果のあるプログラム”と“安全で安心な受入”を提供する。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

大潟村、秋田県西側はほぼ中央、男鹿半島の東側にあり、北に世界遺産の白神山地、南に霊峰烏海山を望むことができる。日本のモデル農村をめざして国営干拓事業によって日本第2の湖八郎潟を干拓してできた村である。

自然資源の紹介 海拔0m以下の干拓地、大潟村そのものが観光地と言える程、観光客は多い。総延長20kmの菜の花と桜は、人々の目を楽しませ、心を和ませてくれる。遠い空、真っ直ぐな道、広大な大地、エキゾチックな景観が魅力。村のほぼ中央には、日本唯一、10度単位の「北緯40度、東経140度」経緯度交会点があり、標高が富士山の中央度千分の一の大潟富士もある。わが国初の国設「大潟草原鳥獣保護区」が総合中心地にある。



八郎潟線の菜の花

歴史・文化的な特色

芸術文化協会に村内38団体409人が加入し、陶芸、書道、写真、俳句、フラダンス、日本舞踊、三味線等の活動を行っている。

2月には芸術文化協会主催の発表が開催される。

農林水産業の特色

大潟村の農業経営は水稻が中心で、1戸当たりの農地面積は、平均12区画、約15畝。農山加工品としては、かぼちゃを利用した「パンプキンパイ」また、とろけるような甘さとオレンジの風味が味わえる「ポルダメロン」と「アムスメロン」がある。最近では、チューリップなど花卉にも取り組んでいる。



宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館
軒数	20	2
最大宿泊可能人数	100	208
料金	2500円～	4800円～

おすすめ体験学習プログラム

採って食べてインターネット学校菜園

(所要時間 240 分・自然・環境体験)

【期間】

通年

【内容】

全員（50人）が体験できる、インターネット学校菜園はジャガイモやトウモロコシ、サツマイモ等の収穫が可能。収穫した作物をその場で食べることも楽しみの一つ。

百姓踊りに挑戦（所要時間 240 分・その他）

【期間】

通年

【内容】

大潟村百姓おどりの会員より、踊りで1年間の農作業を表現する百姓おどりの指導を受ける。農業の村なので、農業様子を躍りで表現する。田植え、草取り、稲刈り等の振りは特徴がよくでて、覚えると学習発表会などで利用できる。

稲刈り及びコンバイン見学（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

9月中旬～10月上旬まで

【内容】

大潟村の圃場にて、稲刈りの見学とコンバイン試乗、希望があれば昔の手法の手刈りも体験できる。

大規模農業体験（所要時間 240 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

大潟村では農業に大型の機械を使用。昔の農作業と現代の農作業を比べることができる。また、最先端農業や八郎湖の水質改善の取り組み等学べる。1畝の広大な圃場とハウス栽培の多種多様な野菜の収穫や出荷の手伝いが可能で普段子ども達が食べている食べ物があるかどうかわかり、育てているのかを子どもと一緒に作業しながら話しをする。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	新生の大地大潟村 農業まるごと体験	実施時期	通年
ねらい	児童が大潟村の歴史を学び、そこで生活する農家の皆さんの入植前後の苦労話や現在の状況と様々な農業体験や、活動をとおして、“生きる力”を培うとともに今後の農業や環境にも関心を持つようにする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式・村内ぐるっと体験	バスで村内めぐり（経緯度交会点、マグナス風車、生態系公園等）
	宿泊	公的宿泊施設「大村サンルーラル」	
2日目	午前	大潟村の歴史を学ぶ	大潟村案内ボランティアの指導「干拓博物館」見学・安心して安全な作物の取り組みについても学ぶ。
	午後	大潟村の自然を知ろう	大潟村自然を守る会員より「ザリガニつかみ」体験
	宿泊	公的宿泊施設「大村サンルーラル」	ソーラーカー製作
3日目	午前	農業体験	その時期の農業体験を各農家で体験（収穫・出荷準備、出荷、水田見回り）
	午後	田んぼで昼食 農業体験	その時期の農業体験を各農家で体験（収穫・出荷準備、出荷、水田見回り）
	宿泊	農家民泊	
4日目	午前	農業体験	その時期の農業体験を各農家で体験（収穫・出荷準備、出荷、水田見回り）
	午後	田んぼで昼食 農業体験	その時期の農業体験を各農家で体験（収穫・出荷準備、出荷、水田見回り）
	宿泊	農家民泊	
5日目	午前	片づけとお別れ会	お別れ会（体験発表、民泊、スタッフへのお礼等）
	午後	学校まで移動	

山形県鶴岡市

鶴岡市グリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>

問合せ先

窓口組織名 鶴岡市グリーン・ツーリズム推進協議会
住所 山形県鶴岡市馬場町9-25
TEL 0235-25-2111 FAX 0235-25-8763
E-mail nosei@city.tsuruoka.yamagata.jp

アクセス

最寄りの都市：山形市
集合場所：鶴岡公園
車の場合：90分
鉄道の場合：150分



受入概要

鶴岡市は、30分圏の中に海から平野、川、森、山まで存在し、春夏秋冬それぞれに、多様な学習と体験が可能である。農業分野では、日本の農業をリードしてきた米づくりをはじめ、多種多様な果樹、さらには、数十年以上前から、地域の人々によって世代をこえて守り育てられてきた在来作物が多数存在している。子ども達が農業体験を通じて、農業を支えてきた生産者の思いを感じ取ることができる。森林の分野では、日本有数のブナ林の中での森の体験メニューが豊富に存在しており、海と森とのつながりを身近に感じることができる。海の分野では、海岸部での漁業体験が可能であること、さらに、クラゲ飼育では日本一となっている水族館が存在しているため、海の不思議も学ぶことができる。それぞれについて、子ども達の体験を通じて、自らの発見、気づきを促すことが可能である。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

鶴岡市は、山形県の西側で、西は日本海、北は烏海山、東は月山、南は朝日連峰に囲まれた庄内平野の南部に位置し太平洋が一番近い日本海地域である。また、東北一の広さを誇る自治体であり、海から平野、川、森、山がそろうとともに、海拔0mから海拔1,984mの月山まで高低差を有する。また、海岸部は、日本で2番目となる庄内砂丘地帯を抱えており、春夏秋冬それぞれの美しい景色を楽しむことができる。平野の中央を流れる赤川はブナの森の恵みを平野部及び海にもたらしている。

沖合の日本海は、暖流と寒流が沖合で混じり合う場であり、多彩な魚に恵まれている。また、海岸部と都市部の間には、高館山、ラムサール条約の上池・下池が存在し、北と南の野鳥が数多く集う場として有名である。

歴史・文化的な特色

鶴岡市は日本有数の稲作地帯であり、おいしい米や野菜を日本全国に出荷している。庄内平野は、江戸時代からおいしい米の産地として知られている。その理由は以下の3点である。①庄内平野は夏の気温が高く日照時間が長いうえ、適度な雨量があり、これが稲の生育に向いている。②一年中水が豊富にある。冬に出羽三山などに降り積もった雪が、春から秋にかけてゆっくりとけ、赤川を流れて庄内平野を潤す。③土地が平らで広い。山から平野にかけて流れる河川が、長い年月をかけて栄養分の豊富な土を運び広々とした庄内平野を形作った。そのおかげで、早い段階から農業機械が導入された。

米以外には、砂丘メロン、だだちゃ豆、さらには、60種類以上を誇るブドウなど、多彩な農林水産物を生産している。

農林水産業の特色

鶴岡市は日本有数の稲作地帯であり、おいしい米や野菜を日本全国に出荷している。庄内平野は、江戸時代からおいしい米の産地として知られている。その理由は以下の3点である。①庄内平野は夏の気温が高く日照時間が長いうえ、適度な雨量があり、これが稲の生育に向いている。②一年中水が豊富にある。冬に出羽三山などに降り積もった雪が、春から秋にかけてゆっくりとけ、赤川を流れて庄内平野を潤す。③土地が平らで広い。山から平野にかけて流れる河川が、長い年月をかけて栄養分の豊富な土を運び広々とした庄内平野を形作った。そのおかげで、早い段階から農業機械が導入された。米以外には、砂丘メロン、だだちゃ豆、さらには、60種類以上を誇るブドウなど、多彩な農林水産物を生産している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	80	6	80	6
最大宿泊可能人数	240	100	7700	556
料金	4000円～	4500円～	6000円～	施設による

おすすめ体験学習プログラム

田植え体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで

【内容】

我が国の農業の基幹である稲作を学ぶために、その生産方法と田植えによる体験学習を行う。体験はあえて、手植えにすることで稲作の環境を体感し、また、昔の生産者の苦労の一端を学ぶ機会にする。稲作農家に指導者として付いてもらい、作業の指導だけでなく、その地域で行われてきた稲作にまつわる事柄について説明を行う。

ネイチャーゲーム（所要時間 60 分・自然環境体験）

【期間】

通年

【内容】

鶴岡市の里山を題材にしたプログラムであり、実施時期に応じて変化する里山の特色を活かした内容である。自然の中で遊びながら五感をフルに活かして、自然と触れ合う活動を行う。

天体観測（所要時間 120 分・自然環境体験）

【期間】

通年

【内容】

経験豊富な講師のお話をききながら、施設内の天体ドームで口径 30cm の天体望遠鏡で星空を観察する。

地引網体験（所要時間 60 分・漁業体験）

【期間】

5月上旬～11月中旬

【内容】

寒流と暖流が交わる庄内浜は様々な魚を見ることが出来る。実際に網を引くことで漁を体験する。切り身ではない、本物の魚を獲ることで、命を頂くありがたみを体験する。

海の生き物観察（所要時間 2 分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～11月中旬

【内容】

専門家の指導のもと、クラゲの展示数日本一の「加茂水族館」でのクラゲ学習会や放流用稚魚の飼育の様子を観察し、海の生き物の生態を学ぶ

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	つるおかの森と海との繋がりを感じるプラン	実施時期	4月下旬～10月中旬まで
ねらい	海と森、本県の米づくりをリードする「つや姫」の生誕地であり、かつ、時代を超え受け継がれてきた数十種類もの在来作物を抱える地域性、さらには、城下町という歴史と文化が織りなす鶴岡市を舞台に、農山漁村の暮らしと生業の一端を体験することで、子ども達に、幅広い視野を持つとともに、自ら選択し、行動する自発性を養ってもらう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。） オリエンテーション（共同生活のルール説明、鶴岡についての学習、施設周辺の探索）
2日目	宿泊	公的宿泊施設「少年自然の家」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	ネイチャーゲーム	森の中で五感をフルに活かして、自然と触れ合う活動を行う。
3日目	午後	農家の生活体験（班別活動）	対面式：各農家泊先との対面し、自己紹介をする。1時間各農家泊先に任せて、農家の生活を体験する。
	宿泊	農家民泊	夕食後、農家との触れ合い（農業や食について語り合う）
	午前	農林漁家の生活体験（班別活動）	各農家泊先に任せて、農家の生活を体験する。3時間農家とのお別れ会
4日目	午後	グループアドベンチャー	班別に、森の中にあるエレメント（課題）をグループ員が協力しながら解決する。
	宿泊	公的宿泊施設「少年自然の家」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	加茂水族館	日本一のクラゲ水族館で、クラゲの生態の学習会 2時間水族館のしごとを見学する
5日目	午後	由良海岸	由良海岸
	宿泊	漁家民宿	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	お別れ会	海岸清掃活動 2時間 児童による受入関係者に向けたお別れ会
	午後	学校まで移動	

山形県上山市
蔵王教育ファーム協議会

<http://www.zaoliza.co.jp/>

問合せ先

窓口組織名:ヤマコーリゾート(株)蔵王ライザワールド受
入センター

住所:山形県上山市蔵王坊平高原

TEL023-679-2311 FAX023-679-2316

E-mailwoody@zaoliza.co.jp

アクセス

最寄りの都市:山形市

集合場所:蔵王ライザワールド 駐車場

車の場合:70分



受入概要

上山市中川地区蔵王エリアの資源を活かした“学習効果のあるプログラム”と“安全・安心できる受入”を提供することを方針として取り組むこととし、それらの実現のために、地域内の農林漁家や体験指導者を対象に、人材育成を実施し、個々の児童に対してきめ細やかな配慮と家庭的な交流を提供する。構成団体と指導者・地域の特長を生かし、子供たちに農山村の生活体験を通じ農業や生産物の理解を深めると共に農山村に伝わる歴史・文化に触れるなど教育効果の高い体験プログラムの提供を進めていきたいと考えている。この協議会の体験プログラムのコンセプトとして「食の源は命・いのちの源は自然」であること、「自然の循環はいのちの循環」であること、人間やすべてのいのちの営み、すべての産業は自然の恩恵を受け営まれていることを、体験を通じ子供たちに感じて貰えるよう配慮した交流・体験を提供する。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

当該地域は、蔵王山の山形県上山市側に位置し、山岳観光道路蔵王エコーライン(現県道 R12号)に沿って、国道 R13 沿いの平地農村部から中山間、里山地区・高所に属する山岳観光地まで含む地域である。檜下宿を含む羽州街道の宿場町でもあり、宿泊受け入れの中心施設のある蔵王坊平エリアは、標高 1060m の高原に位置し、体験交流施設「たいらぐら」・キャンプ場・スキー場があり日本陸協の準高地トレーニング場の指定を受けている。団体生活の学び、里の農業体験との間も 15 分から 20 分と総合的な学びが可能である。自然資源の紹介蔵王の山岳信仰の地域であり・ツキノワグマ・ニホンカモシカ・狐・狸・野ウサギ・リス・サル等の野生動物の宝庫である。現在蔵王坊平エリアはスキー場・キャンプ場・常設クロスカントリーコース、登山コース周辺には高山植物の多種なこと等、里山には広葉樹林が広がり山菜・きのこが豊富である。集落付近は広葉樹の自然林・杉、唐松の造成林、標高 1200m 付近からのぶな林その上は樹氷の基礎になる青森とど松・這い松帯になる。

歴史・文化的な特色

上山市の文化の特色:市の中心に 1982 年から 290 年ぶりに郷土資料館として再建された上山城が、城下町であったことを忍ばせる。近世短歌歌人の、斉藤茂吉氏が当市の生まれで生家とともに記念館もあり、市内には各地で読まれた歌碑が多く建立されている。羽州街道の宿場であった檜下宿、17 世紀中頃の建物、重文指定古民家「尾形家」、藩政時代家臣が住んでいた武家屋敷も保存されている。昭和代に全国的に知られた無着成恭先生の「やまびこ学校」も市内山元地区である。古く蔵王山は信仰の山であり、信仰の足跡が現在も地域の神社として、女人禁制とされていたことを示す羅漢群も、昔のまま保存されている。(ライザワールド内 御清水の森)。

農林水産業の特色

上山市の農業:農業は水稻を中心に野菜・果樹・畜産と山形県で生産出来る農産物はほとんど生産されている。その生産物は地形・地質・気象条件をうまく生かし、高品質の農産物が生産されている。又、近年観光果樹園が多数開園し春のさくらんぼに始まりぶどう・りんご晩秋の上山特産干し柿・ラフランスまで多様な果樹が生産されている。

上山市の林業:本市の森林は、市総面積の約 70% で、林地の割合は民有林 70% 国有林 30% となっている。民有林は自然林(里山)ほとんどで、用材林は個人造成の杉・カラ松又村単位で管理されている造林帯がある。民有地の大半はその昔から、里山と呼ばれ山菜・きのこ類・あけび山葡萄等が採取され、水を守る森となっています。又構成メンバーの、蔵王緑の騎士団は森林体験フィールド 2 箇所約 5.5ha を管理している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	8	10	5
最大宿泊可能人数	40	50	320
料金	3925 円~	4500 円~	6090 円~

おすすめ体験学習プログラム

足跡を探そう（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

3月上旬～4月上旬まで

【内容】

地域に住む野生動物の足跡を里山の中で探す。地域には、ためき・きつね・うさぎの他数は少ないがイタチ・ハクビシン等の野生動物が生息している。この頃には木の芽も動き始める準備の時

スキーを学ぶ（所要時間 240 分・スポーツレジャー体験）

【期間】

12月中旬～3月下旬まで

【内容】

スキー経験皆無の人から競技スキーを目指している人まで技術レベルに応じて対応できる。標高1000mから1446mまでゲレンデが広がりリフト1本分約500mの広い緩斜面があるため初心者の団体には好適又上部のコースはSAJ公認の(SL・GSL・S-G)の全日本大会が開催されているゲレンデである。

蔵王地域の里山の自然観察（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

蔵王地域の里山に入り、全国の中での里山の生育の特徴や動植物の生態等の蔵王地域の自然環境の一端を学ぶことや、森林資源の働きや自然災害の防止の必要性を学ぶことができる。

牛乳からバターを作ろう（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

牛乳からバターが・・・なぜ白い牛乳が黄色のバターになるのか実際の体験をもとに探り、種明かしを

蔵王山の登山（所要時間 360 分・スポーツレジャー体験）

【期間】

12月中旬～3月下旬まで

【内容】

蔵王山にまつわる民話や動物等の解説を通じて、児童が楽しく参加できるようにして、登山を通して、自然の中で体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高めることをめざす。

農作業の体験（所要時間 360 分・スポーツレジャー体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬まで

【内容】

稲・果樹・野菜、耕種実践農家はいろいろなので体験はいろいろですが農業が自然界の中でどんな役割を果たしているのか学ぶ。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	森林体験・食と命・農山漁交流・体感プログラム	実施時期	4月上旬～11月上旬まで
ねらい	児童が、蔵王地域の特色ある自然・農林業・自然を体感し、チャレンジするとともに、農林家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等） キャンプファイヤー、ファイヤーサイト作り	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。）1時間 サイトの整備、ファイヤー材料の切断、積み上げ
	宿泊		
2日目	午前	原木きのこ作り体験(4～6月) 山の恵みを求めて(5～11月)	インストラクターの指導による、原木にきのこ種駒の植菌作業 2時間 インストラクターの指導による、山菜・きのこの採取、里山の説明・観察
	午後	木工クラフト	テーマ・野生動物を求めて（手作り・お土産作り）
	宿泊		
3日目	午前	原木きのこ作り体験(4～6月)山の恵みを求めて(5～11月)	インストラクターの指導による、原木にきのこ種駒の植菌作業
	午後	農林家の生活体験（班別活動）	農林漁家での生活体験（手伝いをしながら）
	宿泊		
4日目	午前	農林漁家とのお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家への御礼の方法の検討
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。
	宿泊	松前町交流里づくり館	体験したことをまとめグループでまとめ発表
5日目	午前	片付けとお別れ会	
	午後	学校まで移動	